令和２年度 ＪＡ種子屋久
自己改革の取り組みについて

JA種子屋久では、農家・組合員の所得向上と生産拡大を図るために、様々な自己改革に取り組みました。重点的な取り組みについてご報告いたします。

～農業所得の増大・農業生産の拡大～

1

「サツマイモ基腐病」の対策を行いました。熊毛地区サツマイモ基腐病プロジェクトチームと協議を続け、今後も対策を講じていきます。

①土壌改良資材「バイデルマ」（トリコデルマ菌）の試験圃場の設置による被害軽減対策

②新品種「こないしん」の苗の供給

ＪＡ育苗センターより 210 千本供給

③基腐病対策支援資金の新設

実行件数 66 件　実行額 127,220 千円

2

～青色申告会による税務支援～

青色申告会において、会員数拡大を図るとともに記帳代行システムの活用により、組合員の経営内容の見える化に取り組みました。

【青色申告会業務実績】　（単位：人）

地　区	会員数	前年比	申告支援人数	前年比	記帳代行人数	前年比
西之表	120	5	2	0	111	4
中種子	274	△1	2	0	212	△2
南種子	82	1	1	0	55	1

3

地域振興事業を活用し、中種子堆肥センターに新堆肥舎を建設しました。農業に必要な堆肥を常時供給できる状態とすることで、植付作業の遅れをなくします。また、農業生産の拡大や農家・組合員の所得向上を図ります。

生産量概要（Ｒ２事業実績）

さとうきび生産性向上支援事業
夏・秋植え　629 t

さとうきび生産性向上支援事業
春植え　1,027 t

産地パワーアップ展示圃設置
春植え　100 t

4

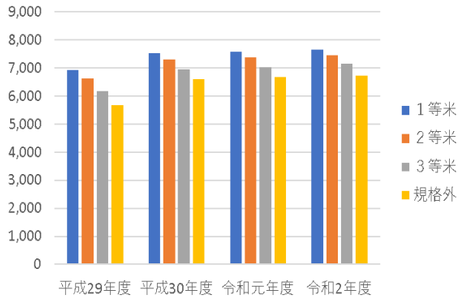
日本一早い『種子島産コシヒカリ』の出荷産地として安定した出荷を図るため、ドローンによる農薬散布を行い、生産コストの削減、早期米の収量及び品質の安定化に努めました。

種子島産コシヒカリ（面積：ha 生産量：俵 販売額：千円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
面　積	230	218	200	200
生産量	30,971	27,985	24,985	24,299
販売額	188,714	196,785	177,432	174,350

《農家の声》　どうしても人員が必要となる農薬散布が大変楽な作業となった。今後も普及促進を図り、利用価格についても検討し、高齢農家でも安心して生産できる体制づくりに努めてほしい。

令和２年度は、7 月 21 日から早期米の出荷を行い、24,299 俵の出荷実績となりました。



早期米取引価格　（単位：円）

等　級	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
1 等米	6,920	7,530	7,590	7,655
2 等米	6,620	7,310	7,370	7,455
3 等米	6,170	6,960	7,020	7,155
規格外	5,670	6,610	6,670	6,735

※早期米の価格は年々上昇傾向にあります。関係機関と連携し、生産コスト削減にも努め、所得向上を図ります。

5

種子島の農産物の生産拡大として、園芸作物（ブロッコリー）の生産力強化を図りました。

ブロッコリー（面積：ha 生産量：t 販売額：千円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
面　積	34.0	46.9	67.0	103.4
生産量	214.9	347.4	469.4	721.0
販売額	91,617	142,188	175,572	252,350

※令和元年度では、スムーズな集出荷を行い、生産拡大を図るため、産地パワーアップ事業を活用し、出荷ラインを整えました。（大型製氷機・氷自動搬出設備）

6

鹿児島市「おいどん市場与次郎館」で、鹿児島ブランドに指定されている「屋久島たんかん」の試食販売会を実施しました。鳥獣害による影響はあったものの、販売額は平年並みとなりました。

タンカン（屋久島）（面積：ha 生産量：t 販売額：千円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
面　積	55.0	55.0	50.0	50.0
生産量	368.2	448.0	323.0	358.0
販売額	120,624	135,325	101,458	120,900

※令和２年度は台風被害だけでなく、鳥獣被害が多発しました。令和３年度は鳥獣害対策を徹底し、農家の所得向上を図ります。

～農業者コスト抑制対策の実施～

農業の再生産に対する支援対策

～畜産事業における対策～

繁殖雌牛増頭対策について

①加速化事業（国）154 百万円／ 699 頭
②自家保留牛 1 頭あたり 5,000 円助成／助成総頭数 759
③生産性向上対策（イージーブリードの助成）1 回あたり 1,000 円助成／助成総回数 1,445 回
④異常産ワクチン対策 1 回接種あたり 1,000 円助成／助成総回数 1,398 回
⑤損耗防止対策（子牛へのワクチン接種）1 頭あたり 250 円助成／助成総頭数 6,246 頭

～経済事業における対策～

①さとうきび・原料用甘藷生産性向上対策
さとうきび (1 芽苗・ 2 芽苗助成　1,492 千円)
②澱粉原料用甘藷・青果用甘藷生産安定対策
澱粉原料用甘藷・青果用の苗助成　1,486 千円
育苗ハウス・資材・一部助成　510 千円
「基腐れ」軽減対策　バイデルマ資材助成　2,076 千円
③園芸品目の安定生産対策
新規品目の検討 (しきみ・オクラ・ショウガ・ニラ　525 千円)
④花卉・果樹品目安定生産
ハウス補修・苗木助成・微生物農薬　1,800 千円
⑤鳥獣害対策（シカ・ヒヨドリ）
ネットの一部助成　936 千円
⑥スマート農業支援
ドローンによる農薬の試験散布
きびトラの普及推進一部助成　300 千円
⑦廃プラ助成
廃プラ処理料金の一部助成　2,608 千円
⑧各種団体・組織育成対策助成
76 団体・29 組織に対して　18,199 千円助成
⑨部会組織肥料予約結集推進対策の実施
1 袋あたり 10 円～ 50 円助成（種子島 9 部会・屋久島 1 部会）
⑩大口取引先への事業利用分量に応じた購買資材価格の値引き及び助成
乾草大口需要対策 (1 個あたり 45 円～ 100 円助成)
肥料大口需要対策 (1 袋あたり 40 円助成)
肥料大規模農家対策 (1 袋あたり 100 円～ 250 円助成)
予約肥料・飼料の単価値引き (全品目 1 袋あたり 22 円～ 27 円値引き)
春肥予約肥料自己取り助成 (1 袋あたり 30 円～ 40 円値引き)
予約農薬の単価値引き (予約全品目 5％価格引き下げ)
⑪株出し用マルチフェアによる価格引き下げ (1 本あたり 198 円引き下げ)
⑫飼料用肥料特別販売フェアによる価格引き下げ
(取扱品目 2 品目、100 円～ 200 円価格引き下げ)
⑬南九州 3 県合同仕入による農業機械の販売 (取扱品目 1 品目、30％価格引き下げ)

～新型コロナウイルスの影響に伴う各種事業の支援～

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受ける年となりました。農業者にとっても、レストランなどの外食需要の消費低迷による影響を受ける中、販売価格の安定に向けた契約販売の取り組み強化を図るとともに、組合員の個別面談を行い、県・市町と連携して各種事業の支援に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大防止並びに次年度作の園芸品目に対する機械・設備・生産資材等に対する国の助成事業等の申請支援の取り組み

高収益次期作支援交付金

1．事業内容
コロナウイルス感染により売上が減少した園芸作物を対象に次期作の肥料などの生産資材費等の国の一部助成事業
2．ＪＡが窓口となり支援を行った実績
申請件数　２１１件

経営継続補助金

1．事業内容
コロナウイルス感染防止のために新たに投資する農業機械などへの国の一部助成事業
2．ＪＡが窓口となり支援を行った実績
申請件数　２８８件

持続化給付金

1．事業内容
コロナウイルス感染により売上が大きく減少した事業者に対する国の給付金
2．ＪＡの取り組み
1）　申請に必要な販売実績などの書類提供
2）　高齢者やパソコンを持たない農業者の代行申請　８７件

その他

家賃給付金・固定資産税の特例措置申請の申請支援

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の活性化に向けた取り組みや組合員の皆様との徹底した話し合いをする機会が少なくなりましたが、感染拡大防止対策を講じながら今後も活動を続けて参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

～ＪＡ種子屋久 経営理念～

ＪＡ種子屋久は、組合員・地域住民に親しまれ信頼される地域密着型のＪＡをめざします。

新しい夢どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

公式ＨＰＱＲコード